

(様式1)

タイトル	Dear Deer ～鹿が結んだ地域の輪～
名称(学校・地域)	長野県上伊那農業高等学校
日時・場所等	平成26年6月～ 上伊那地域・長野市・東京都
ホームページアドレス	http://www.nagano-c.jp/iono/

「生命に学び地域に開く」をモットーに地域資源として鹿について研究し発展させました。

第68回日本学校農業クラブ全国大会 プロジェクト発表会 III類 ヒューマンサービス部門で最優秀賞・文部科学大臣賞を受賞しました。

☆鹿との出会い☆

「ここじゃ子供の数より鹿が多いんじゃない」伊那市新山のとんぼ祭りに参加した時に、地元の猟師さんから聞いた言葉です。ジビエ料理をごちそうになった私達の横を鹿が飛び跳ねて行きました。有害獣駆除した鹿は埋設することが多いと教わりました。



初めてであった鹿・美味しいジビエ



新山では子供の数より鹿が多い？



埋設予定の鹿を有効活用したい

☆商品化に向けて☆

鹿による農林業被害や活用の問題点などを調べ、鹿を資源として活用できないか試行錯誤を重ねました。結果は、加熱するどんな料理でも美味しく食べることができ、高蛋白、高ミネラル、低脂肪のヘルシーな100%国産の肉であることがわかりました。中でも私達が作る鹿肉ジャーキーは多くの方から「売ってくれないかい」と言って頂ける程の人気でした。販売するために必要な設備を高校生が自身の手で整備し、「食肉製品製造業」の営業許可を得て、販売体制を整えることができました。



鹿の被害や活用法について調べる



どんな料理でも美味しく食べられる



手作りの製造所！

天井のパテ埋め

ペンキ塗り

食肉製品製造所を手作り

☆「でいあでいあ」を活用した取り組み☆

鹿の解体、香辛料の栽培から製品の加工など製造を全て自分たちが行うことにこだわって完成した製品の名前をDearDeer; 親愛なる鹿という意味の「でいあでいあ」と名付け、各種イベントで販売して鹿のおいしさを広めました。移住定住促進に取り組んでおられる新山地区の方々と「GINZA長野」に行って販売し、長野県のすばらしさを宣伝してきました。「でいあでいあ」は地域の特産品として認められ、新山のパン屋さんと農家民宿さんとで通年販売して頂けるようにもなりました。私達がこのプロジェクトに取り組んできた3年で、地区内の鹿の数は減り、10家族・33人が移住してこれたとのことでした。これからも地域の人から大自然の楽しみ方を教えて頂き、子供たちに伝えられるように活動を続けます。



宮田まるかじり工房 青葉さんのご協力により鹿を解体



でいあでいあ 完成



新山のパン屋さんと農家民宿さんで通年販売



豊かな自然の中で、新山では鹿が減って子供の数が増えました

